

会議録

審議会名	第1回 杉戸町生涯学習審議会
開催日時	令和4年8月23日(火) 午前10時00分～11時00分
開催場所	杉戸町役場 第1庁舎3階 会議室
会議の議題	(1) 会長選出について (2) 令和4年度における社会教育課実施事業について (3) その他
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <del>非公開</del> (公開の場合傍聴者数 0人)
	(非公開の場合理由)
出席者氏名	石田茂生、飯田賢、根本伸、浅井宰、齊田壯市、大塚信英、仁部弥生、大島齋禮、寺田竹雄、青木光一、松原巖、横山進、齋藤伸夫(敬称略)

審議の概要

**議題(1) 会長・副会長選出について**

(事務局長) それでは、新会長が決まるまでの代理として、暫時事務局が会議を進行いたします。会長・副会長の選任につきましては、委員の互選でございます。ご推薦などにつきましては、いかがでしょうか？

(委員の中から「事務局に一任」との声あり)

(事務局長) ただいま、「事務局に一任」とのお声がございました。皆様いかがでしょうか。

(委員の中から「異議なし」の声あり)

(事務局) ただいま、異議なしというお声がございましたので、事務局案をご提案いたします。これまでの当審議会の経過やご経験、ご経歴等々を勘案させていただき、寺田委員さんを会長に、そして青木委員さんを副会長ということでご提案させていただきたいと思っております。

(事務局長) ただいまの、会長を寺田委員さん、副会長を青木委員さんという事務局案に対して、ご意見がおありの方はご発言願います。

(委員の中から「異議なし」の声あり)

(事務局長) ただ今、「異議なし」というお声がございましたので、寺田委員さんに会長、青木委員さんに副会長をお願いしたいと思います。それでは、当審議会規則第6条の規定より、会長が議長となることから、これからの議事の進行については寺田新会長をお願いしたいと思います。

(寺田会長) それでは、規則に従いまして議長を務めさせていただきます。皆様、よろしくお願いたします。

### 議題(2) 令和4年度における社会教育課実施事業について

(各担当から各々の取組とこれからの事業について資料による説明)

- ① 社会教育担当 ② 人権教育担当 ③ 町史・文化財担当 ④ スポーツ振興担当
- ⑤ 公民館・生涯学習センター担当

(寺田会長) ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明について、何かご質問等がございましたらお願いいたします。

(大島委員) 資料2ページの「放課後子供教室」について、杉戸小学校で現在放課後に実施しているものとは違う事業なのでしょうか？

(事務局) 放課後子供教室につきましては、今年度活動しているのが杉戸第二小学校と泉小学校になります。また、杉戸第三小学校は現在調整中で、現状として合計三校のみで実施している状況であります。それ以外の町内小学校三校につきましては、今後新規に拡大してゆく予定となっております。

それゆえ杉戸小学校ではまだ放課後子供教室は実施していないので、放課後児童クラブ、昔でいうところの学童保育のことだと思われれます。

(伊藤教育長) 放課後児童クラブは、厚労省が所管する制度で、学校が終わって、学校とは別の場所で、おうちの人が迎えに来るまで預かる制度のことです。かつては学童保育と呼ばれていました。

数年前から学校の施設を利用したらどうかという案があります。そのため、各学校にご協力をいただいたうえで学校の施設を使用しているところがあるので、委員さんはそれをご覧になったのだと思います。

一見、似ている事業ですので混同しやすいのですが、この資料に掲載されている放課後子供教室という事業は、あくまで社会教育で実施している事業でして、放課後に子どもたちが充実した時間を過ごせないかという目的のため、月に数回などといった形で、子どもたちと運営委員さんたちによって実施しているものです。元が異なる事業ですので、やっていることは別々でございます。

より詳しく言えば、学童・放課後児童クラブについては、学校が終わってからの「家」のような場所という位置付けで設置されております。学校が終わってから、午後4時頃から午後7時頃くらいまでの間、そこで遊んだり自習をしたりなど、いろんなことをして過ごすような形で運営されています。

一方、放課後子供教室は、社会教育の範疇になります。地域が、そこでやってくさると言っていたいただいた方々と学校と協働して実施するものです。一番早く設立したのは、杉戸第三小学校で埼玉県内でも最も早い段階でした。その後杉戸第二小学校が実施し、その後に泉小学校が実施しております。残り三校につきましては、未実施の状態でございます。

(大島委員) ここに書いてある「放課後子供教室」というのが社会教育というのはわかりましたが、放課後児童クラブの方の所管はどこですか、また、どれほどの頻度で実施しているのですか？

(伊藤教育長) 杉戸町では、就学前と就学後の子どもの所管を一緒にしようということで、現在は教育委員会教育総務課に放課後児童クラブの事務局を設置して担当しております。一方で本来教育で担当していた幼稚園事務を子育て支援課に移管となり、少々特殊な形をとっております。本来としては放課後児童クラブは厚生労働省に関係する、厚生面での保護者に対する事業となります。

(大島委員) 事故などが発生した場合などは、どこが責任を取るのですか？学校教育課ですか？

(事務局) これは学校教育の範疇ではございませんので、放課後子供教室に関しては、担当は社会教育課になります。

(伊藤教育長) 社会教育に関係する、放課後子供教室に関しては、最終的な責任は教育委員会教育長となると思いますが、一方、放課後児童クラブについては委嘱事務を行っているだけなので、町長が最終責任になると思います。

(大島委員) 第三者がこの様子を見たところ、放課後子供教室と放課後児童クラブの区別はわかりにくいですね。

(寺田会長) 今、大島委員さんが言われたとおり、非常にわかりづらいですが、基本的には、先ほど教育長が言われましたとおり、放課後児童クラブは家に帰れない子ども達が行くところで、頻度は毎日です。日々実施しているものと考えていただいて構わないと思います。

(石田委員) 放課後児童クラブは、親御さんが共働きなどでお家にいないので、その間、お子さんをお預かりするという内容です。

(寺田会長) 放課後子供教室については、毎日ではなく、毎回単発で行われるように日程が決まっているもので、放課後児童クラブは土日祝日を除いて基本毎日行っているものです。

(事務局) 国としては、両者の連携を強調しておりますが、目的と実施内容が全く異なります。外から見るとわかりづらいですが、後ほど質問においていただければと思います。

(大島委員) わかりました。

(寺田会長) ありがとうございます。他に何かご質問等はございますか？

(齊田委員) 資料5ページの文化財歴史講演会の開催が9月10日ということですが、こちらは何時から開催ですか？

(事務局) 午後2時から午後3時30分までの90分程度を予定しております。

(齋田委員) ありがとうございます。

(寺田会長) これはまだ申し込み可能ですか？

(事務局) 可能です。

(寺田会長) ありがとうございます。その他、ご質問等はございますか？

(委員から質問、意見等の発言無し)

### 議題(3)「その他」について

(寺田会長) それでは、次の議題に移ります。議題(3)「その他」について、

事務局からございましたら、説明をお願いします。

(事務局) 現在、杉戸町が埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会という組織の事務局に、令和4年から5年までの間なっております。また、杉戸町生涯学習審議会の寺田会長が、この埼玉県市町村社会教育連絡協議会の会長となっております。これとあわせて、埼玉葛地区の、埼玉葛郡市社会教育振興会という団体がございますが、こちらにつきましても寺田会長が同会の会長となり、事務局が杉戸町社会教育課となっております。任期はこちらも同様に2年間となっております、その期間は埼玉県、あるいは埼玉葛地区の代表として全国大会や関東甲信越静岡ブロック大会などに会長と事務局が参加することとなっております。以上ご報告になります

(寺田会長) 前回、1月26日の会議の際に申し上げましたと思いますが、生涯学習の基本構想、基本計画について私の方からお話しさせていただきました。これについて、事務局の方からどのような流れで進めていくのかについて、ご説明をお願いいたします。

(事務局) 現段階では、杉戸町の教育委員会社会教育課の方では生涯学習基本計画というのは作ってはいません。上位計画として、杉戸町総合振興計画というのを実施し、それに基づいて社会教育や生涯学習の事業を実施しておりますが、生涯学習、社会教育に係る基本計画が無いというのが寺田会長のご指摘ということになります。

(寺田会長) 今後の予定はいかがでしょうか？

(事務局) 上位計画でございます第6次杉戸町総合振興計画が令和3年度から令和12年度までの計画となっております。その前期の計画が令和3年度から令和7年度になり、後期が令和8年度から令和12年度となります。それゆえ、すでに動き出しておりますので、担当としては、総合振興計画と整合性を図りながら、これから準備に入らせていただく形になります。今年度は計画がございませんので、令和5年度以降に予算、人員を含めて要求しつつ、後期の計画に合わせるような形で、生涯学習基本計画が作れたらというように考えております。以上でございます。

(寺田会長) それでは、その流れについては、次回にお示しいただけますか？

(事務局) それはタイムスケジュールとしてですか？

(寺田会長) そうです。

(事務局) 概略という形になると思いますが、なるべくその方向で考えていきたいと思います。

(寺田会長) ありがとうございます。では、次回会議はいつごろを予定しておりますでしょうか？

(事務局) まだ正確な日時は申し上げることはできませんが、年内、もしくは年明け早々くらいには第2回生涯学習審議会を開催したいと考えております。

(寺田会長) 2回までで、3回目はありませんか？

(事務局) 諸般の都合がつけば3回目も可能性はありますが、少なくとも2回は実施したいと考えております。

(寺田会長) 本日、初めての方もいますので、ご意見やご質問がおありの方はお願いいたします。

#### **【委員からの主な質問や意見と事務局の回答】**

(松原委員) 本日が第1回の会議ということだったので、今後の生涯学習の計画について話し合うものだと思っていましたが、現在までの実施した事業の報告が中心でした。そうすると、これからについては、次回の会議で話し合っ決めてゆく、ということなののでしょうか？

(事務局) 第1回目が、年度が始まってから少々過ぎてしまっはおりますが、今年度の計画を報告させていただきました。今年度については、計画や予算が基本的に決まってしまっていますので、もしご意見等があれば、来年度以降に事業に反映させたいと考えております。

(松原委員) 全体像が見えにくいというのがあったものでお伺いしますが、計画というのは本来はいつ頃、どのように報告等されるものなのですか？

(事務局) 本来であれば、年度初めに計画と前年度の実施報告を行います。しかしながらコロナの問題や、また今年度は改選期ということもございまして、どうしても第1回目が年度途中になってしまうというのがございます。そのため、今日までの状況を報告させていただいたところでございます。

(寺田会長) 年間計画というのは、あっていいのかなと思います。その辺については、また皆さんからご意見を募ってという形になると思います。

(青木副会長) 旧町民体育祭からスポーツフェスティバルに変わりました、これは大変よろしいと思います。中学生は勉強、部活の兼ね合いから忙しいかもしれないですが、小学生については、広く参加できるような催しにしていただけるようご配慮いただければと思います。

会場もいい場所ですし、時間も長すぎず、参加しやすいのではないかなと思います。また、当日の状況を映像として配信するなどして、次回以降も参加者が集まりやすい環境を作るのがよろしいかなと思います。子どもが外に出るためのいいきっかけづくりになればと思います。

(大島委員) 学校の部活動の地域移行について、社会教育、特にスポーツ分野との関連性は大きいと思います。そこで、町の状況はどうなっているのかお聞きしたいです。

文科省の話では、通知や予算など、色々な話も出ているが、文化系、スポーツ系両方を移行させる考えのようです。しかしながら、今まで部活動を指導してきた先生の中には、指導することにやりがいを持っている先生も存在すると思います。それに学校外の人で指導する人材も、果たしてどれだけ見つかるものだろうかという疑問もあります。そのような問題についてのお考えをお聞かせ願いたい。

(伊藤教育長) 担当は学校教育課になりますので、私の把握している限りでお話ししたいと思います。文科省からの通知以上の通知等は来ていないのですが、来年度から3箇年かけて、土日の部活動を地域に移行してゆくというものです。

これも様々な問題があると考えております。日本中の地域にもいろいろございまして、都市型から農村型と様々な地域の状況がありますので、果たして国が一気にゴーサインを出せるのかという問題もございまして。

近隣の状況ですと、白岡市がモデルケースということで委嘱されております。その結果についてはまだ出てはいないものの、今後、県教委から我々の下に報告が来ることになると思います。そこでプラス面、マイナス面などの課題が見えてくると思います。

杉戸町教育委員会としては、まだ動き出してはいないところですが、今後は実態の把握、それから協力団体がどれくらいいるのかなどの調査をしたうえで、実施がどういう形で可能なのかを、まず調べる段階から入っていきたいと考えております。今後、調査等で関連団体の方にお話を伺ったりということになるかと思っております。実施をめぐっては、私自身も学校も、困難な課題を乗り越

えていかなければならないと考えております。

(仁部委員) 資料1 1 ページの一番下の欄にございますが、杉戸町県展入選作品展をギャラリー小径にて実施するとなっておりますが、公共施設ではなく、民間の場所を借りて実施するのはお金がかかると思います。それに人件費や当番の問題などもあると思いますが、これはギャラリーの持ち主と相談の上で決定したのですか？

(事務局) これにつきましては、ギャラリー小径のオーナーの方とお話しさせていただきまして、まだ書面による確定に係るやり取りは済んでいませんが、無償で使用させていただける旨のお話をさせていただいております。ですが、まだ最終的な決定というわけではございません。

(仁部委員) これからずっとギャラリー小径を使用するのですか？

(事務局) カルスタすぎとがワクチン接種会場となっている関係で、今年度につきましてはギャラリー小径を候補として考えているところであります。来年度以降は未定でございますが、ワクチン接種等の会場でなくなれば、また従来通りカルスタすぎとで実施したいと考えております。

(根本委員) 私が連絡協議会をしております西公民館については、かつて6年前に総数60団体以上のサークルが文化祭に加盟しておりましたが、現在西公民館では26ほどのサークルになり、しかもこのうち15団体が文化祭に参加できない状態になっております。サークルを構成している人が減少している中で、町としては今後どのようにしたいとお考えかお聞きしたいです。

また、ここにおいでの皆様にも、ぜひ文化祭にいらしていただいて、直にその様子や雰囲気を感じていただきたいと思います。すぎスポさんのような協力してくれている団体さんなど、関係団体から来場してくれますが、一般の人々がなかなか来場しない現状を、町の方はどうお考えなのかと思いますので、お聞かせ願います。

(事務局) 委員さんご指摘のとおり、サークル団体数の減少というのは喫緊の課題であると考えております。サークル活動を構成されている方が、シニアの方が非常に多く、コロナということもあり、感染を心配される方も非常に多い状況ですので、減少しているというのが現状であります。これは不可抗力の要素もある一方で、周知が足りないなどの問題もあると思います。ホームページや館内掲示など、よりPRしていきたいと考えております。

(寺田会長) 私の気になるところでは、我々が今審議している内容の範疇は、社会教育委員としての問題です。私たちは生涯学習審議会ということですが、ここに名前とやっていることに齟齬が生じているわけです。それゆえ基本構想や基本計画がないと、おおもとから進むことはできません。簡単には出来ないことだとは思いますが、長いスパンで、また町の基本計画に間に合うように、あわせてできるように整合性が取れるようにできればいいと考えております。公になるものですから、各委員さんにおかれましても、交代される際は引継をしっかりとっていただきますようお願いいたします。そして基本計画がしっかり出るようにしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

それでは、皆様から貴重なご意見をいただきましたところで、議事を終了いたします。皆様、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

(事務局) 寺田会長、並びに委員の皆様におかれましては、貴重なご意見ありがとうございました。それではここで、伊藤教育長より会議の総括をいただきたいと思っております。

(伊藤教育長) 委員の皆様、本日はありがとうございました。まず、令和4年度の事業計画をご説明させていただきましたので、これからひとつずつ事業を実施されます。

次の会議ではまた、今年度の事業の実施状況と、来年度に向けてという形となってきますので、また次回の機会にもぜひ資料をご覧いただき、ご意見、ご指摘いただければと思います。

それから、委員の皆さんの忌憚のないご意見をお聞きして、本当に感想なのですが、私は38年間学校教育の場で働いていました。その後も引き続き、教育委員会にて学校教育と社会教育両方のところで、いま5年半になろうとしております。日本の教育が間違っていたとまでは言えませんが、時代に少し遅れてしまったのではないかなと感じております。というのは、子ども達は学校の中での勉強は非常にまじめにやっていると思いますし、次の進路に向けての勉強もしっかりしていると思います。ですけれども、人の一生と考えたときに、教育改革の中で今やっと始まった、「自分がこうなりたい」、「これを知りたい、だからこうする」という力、「学びに向かう力」は育ちきれなかったのではないかと、私などは育てきれなかったのではないかと反省が残っております。

ですので、学校の先生たちもおっしゃいますけれども、教育改革が始まったところで、今の子どもたちにおいては、学校の中だけが学びに向かう力を養うところではありません。今はもう人生100年時代ですから、子どもたちが100年成長して、生きて社会を支えるときに、学校も地域も保護者も一体となって、生涯学習という大きな範疇の中で、何の学びを自分はしたいのか、どういうふうに学びたいかというような、意欲を持って先に進める力を、社会全体

で育てていかななくてはならないのかなというのを感じております。

それゆえ、事業計画なども少しずつ見直していったって、町が出来ること、それから地域が出来ること、保護者が出来ること、そして学校教育も含めて教育関係が出来ることというのを、整理していかなければならないと感じているところでございます。

海外のニュースなどを確認いたしますと、海外の方では考え方が随分違ってきているので、そうすると、世界の中の日本というのを考えると、学んでいく力とか、自分が疑問に思った事を追求していく力というのを、本当に育てていかなければいけないなと考えておりますことと、私自身もどういう様に学んでいきたいかを皆様のご意見を聞きながら考えていきたいなと思っております。

本日は長い時間にわたりご協力いただきましてありがとうございました。また次回、どうぞよろしく願いいたします。

(事務局) それでは最後に、青木副会長より閉会の言葉をいただきたいと思っております。

(青木副会長) 今日は第1回ということでありましたけれども、皆様から色々な貴重なご意見をたくさんいただきました。それを活かしてまた次回も開催できればと思います。

それでは以上をもちまして、令和4年度杉戸町生涯学習審議会第1回会議をこれで閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

(閉会)